

令和 6 年度

網走市における景気動向調査

<第 I 四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

1-1	調査時点及び調査対象期間	1
1-2	調査対象	1
1-3	調査方法	1
1-4	回収状況	1

第2章 概況

2-1	全体の動き	2
2-2	業種別の動き	3
1)	建設業	3
2)	製造業	4
3)	卸売業	4
4)	小売業	5
5)	サービス業	5

第3章	業種別設備投資の状況	6
-----	------------	---

第4章	業種別経営上の問題点	7
-----	------------	---

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：令和6年4月1日（月）～令和6年6月30日（日）
- (2) 調査対象期間：令和6年4月～6月期実施、及び令和6年7月～9月見直し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30件）、製造業（24件）、卸売業（20件）、小売業（40件）、サービス業（44件）の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

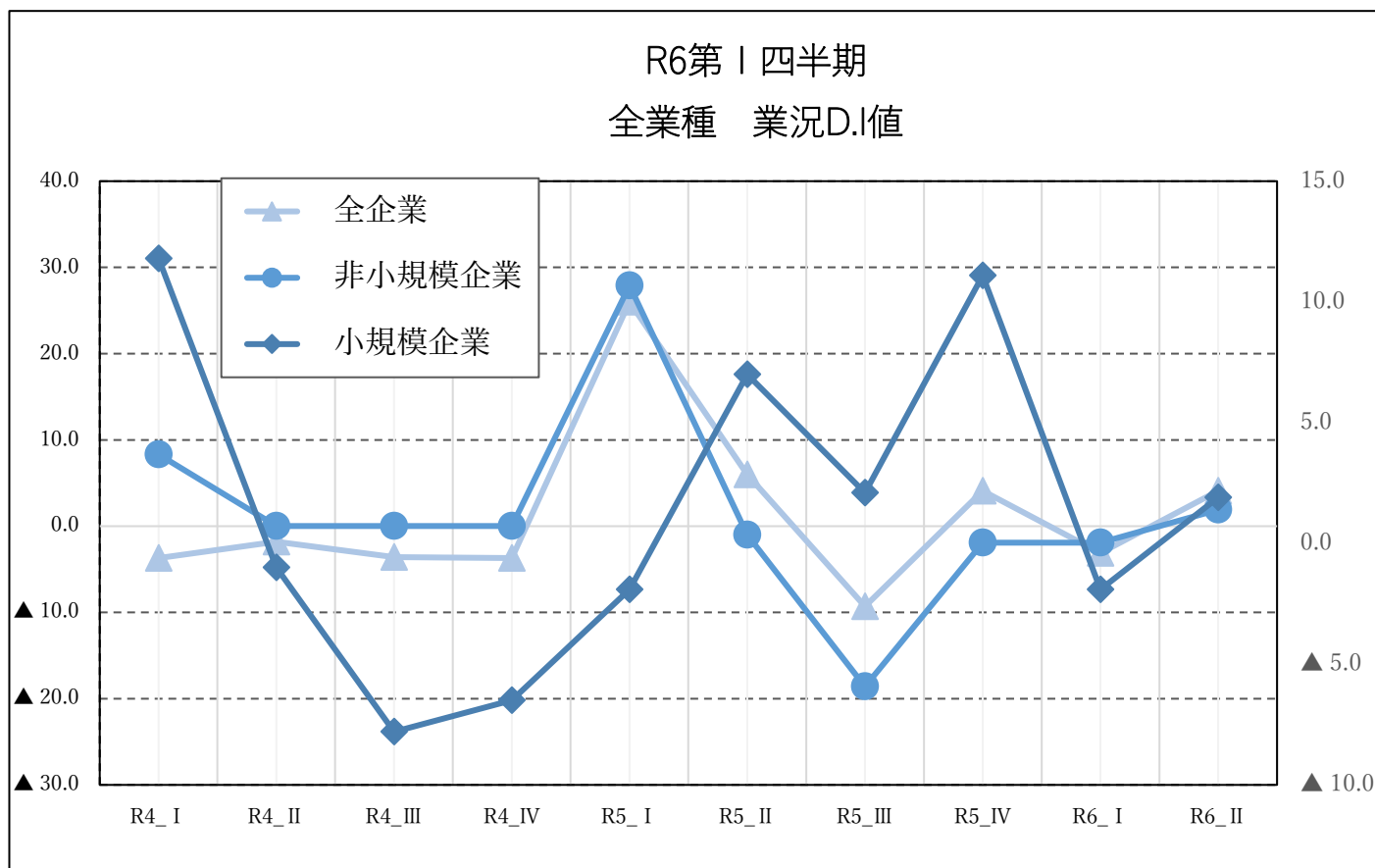
調査対象に案内文と調査票を送付し、FAXもしくは同封の返信用封筒による郵送、インターネット（Google フォーム）による返信にて回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種	企業数 対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30件	20件（非小規模企業：12件、小規模企業：8件）	66.7%
製造業	24件	16件（非小規模企業：8件、小規模企業：8件）	66.7%
卸売業	20件	10件（非小規模企業：5件、小規模企業：5件）	50.0%
小売業	40件	28件（非小規模企業：16件、小規模企業：12件）	70.0%
サービス業	44件	24件（非小規模企業：12件、小規模企業：12件）	54.5%
合計	158件	98件	62.0%

第2章 概況

2-1. 全体の動向



令和6年度第I四半期(4月~6月)の全企業業況は、前年同期に比べ、「好転企業」17.3%、「悪化企業」20.4%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は $\Delta 3.1$ となり、前回(D.I.値4.1)に比べ、その差は7.2ポイント悪化傾向となっています。

非小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」17.0%、「悪化企業」18.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は $\Delta 1.9$ となり、前回(D.I.値 $\Delta 1.9$)に比べ、その差は0ポイントとなっています。

小規模企業の業況は前年同期に比べ、「好転企業」17.0%、「悪化企業」18.9%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は $\Delta 1.9$ となり、前回(D.I.値11.1)に比べ、その差は13.0ポイント悪化傾向となっています。

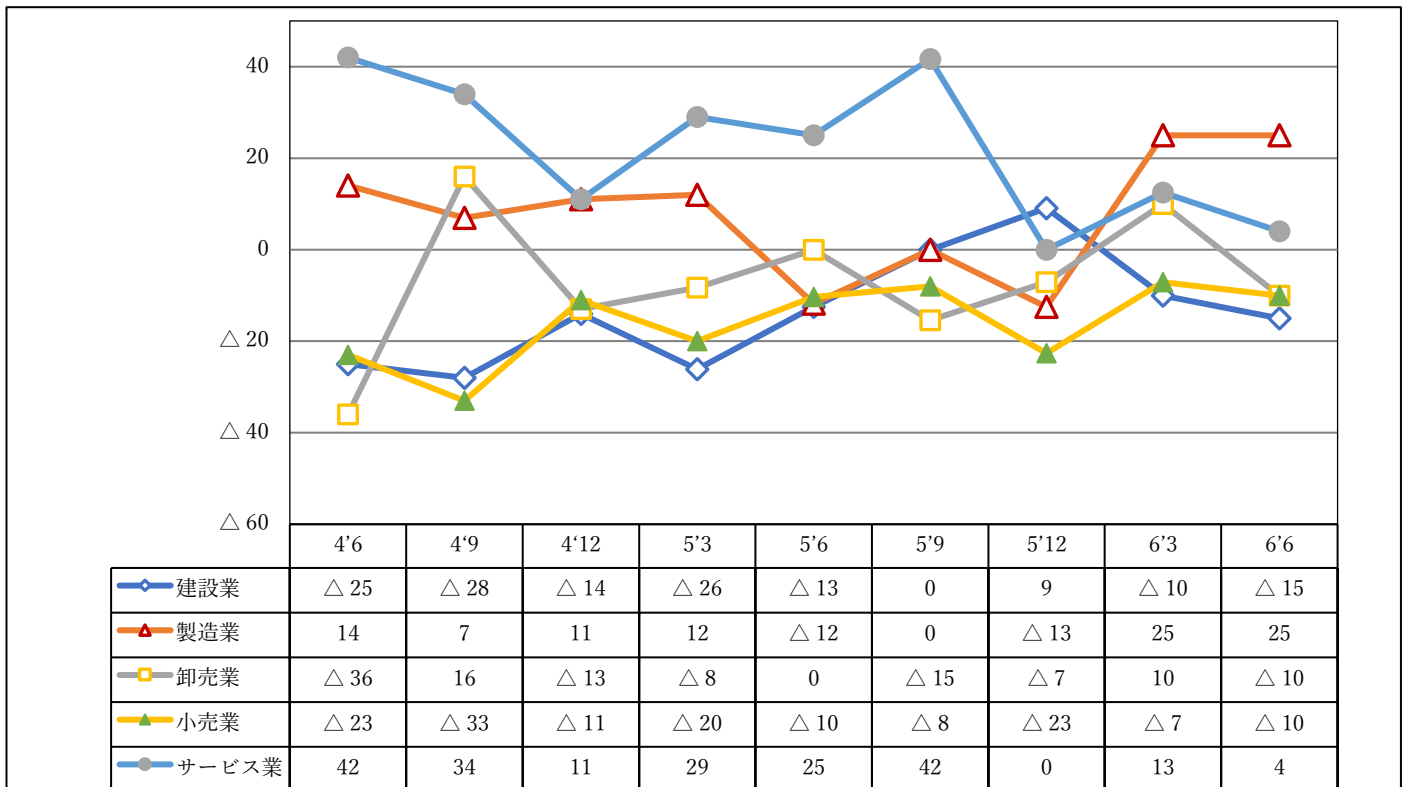
次期(7月~9月)見通しとして全企業の業況は、今期に比べ「好転企業」18.4%、「悪化企業」14.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は4.1となり、今期(D.I.値 $\Delta 3.1$)に比べ、その差は7.2ポイント好転傾向となっています。

非小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.9%、「悪化企業」17.0%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は1.9となり、今期(D.I.値 $\Delta 1.9$)に比べ、その差は3.8ポイント好転傾向となっています。

小規模企業の次期業況見通しは、今期に比べ「好転企業」18.9%、「悪化企業」17.0%となり、「好転企業」

から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は 1.9 となり、今期 (D.I.値△1.9) に比べ、その差は 3.8 ポイント好転傾向となっています。

2-2. 業種別の動向



1) 建設業

完成工事高

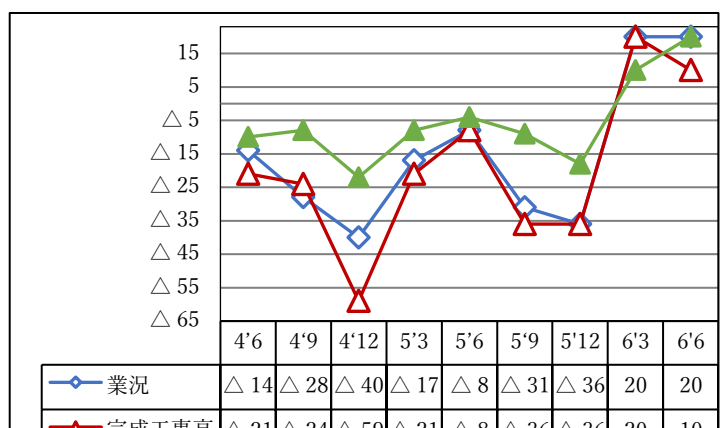
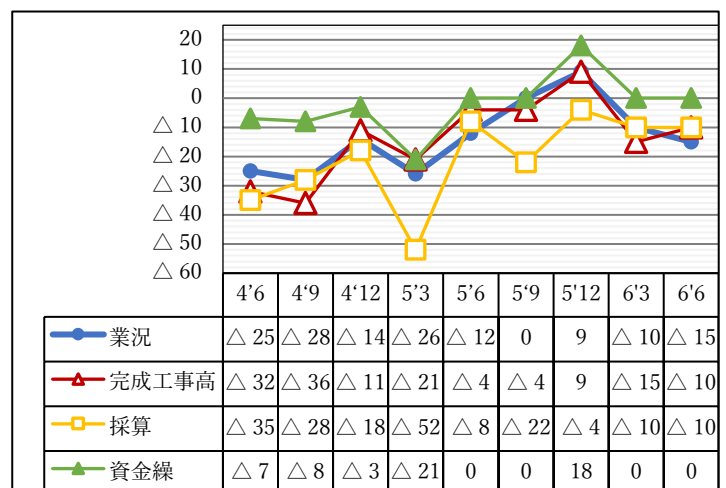
前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」30.0%、D.I.値△10.0 と前年同期 (△4.2) に比べ 5.8 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」30.0%、D.I.値△10.0 と前年同期 (△8.3) に比べ 1.7 ポイントの悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 20.0 (前年同期 D.I 値△8.4)、完成工事高 D.I.値 10.0 (同△8.3)、資金繰り 20.0 (同△4.2) と前年同期に比べ、



全ての見通しで好転傾向を示しました。

2) 製造業

生産高

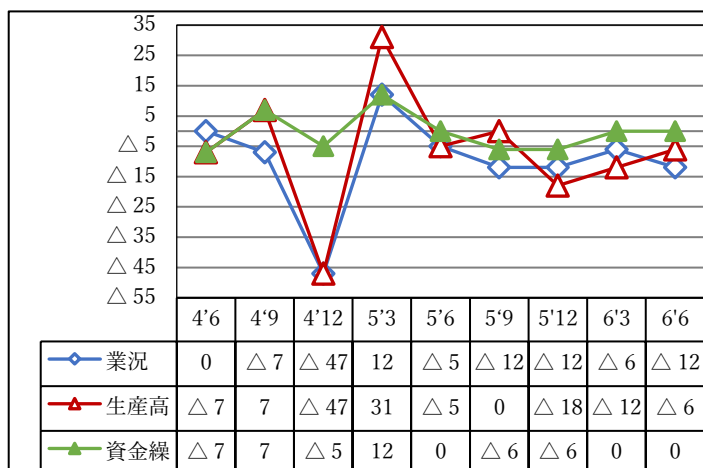
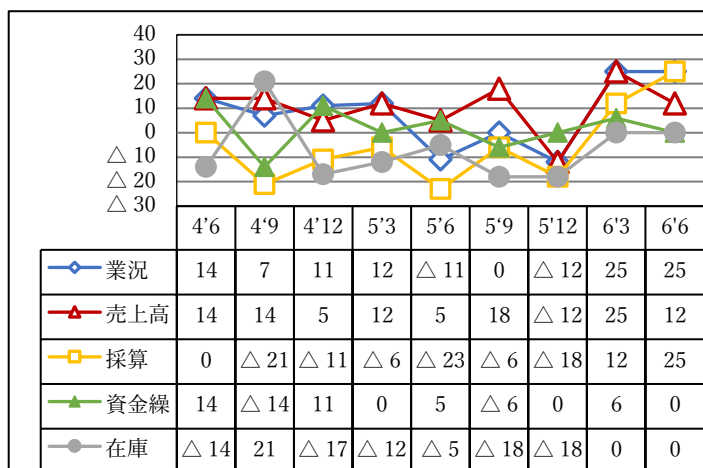
前年比で「好転企業」31.3%、「悪化企業」18.8%、D.I.値 12.5 と前年同期 (5.9) に比べ 6.6 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」37.5%、「悪化企業」12.5%、D.I.値 25.0 と前年同期 (△23.6) に比べ 48.6 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I. 値△12.5 (前年同期 D.I. 値△5.8)、生産高 D.I. 値△6.3 (同△5.9)、資金繰り 0.0 (同 0.0) と前年同期に比べ、2つの見通しで悪化傾向を示しました。



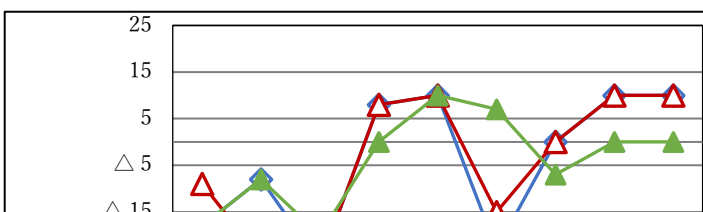
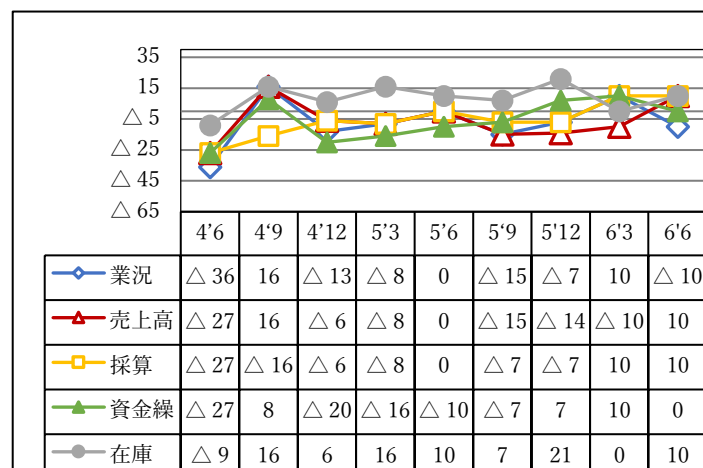
3) 卸売業

売上高

前年比で「好転企業」10.0%、「悪化企業」0.0%、D.I.値 10.0 と前年同期 (0.0) に比べ 10.0 ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」10.0%、D.I.値 10.0 と前年同期 (0.0) に比べ 10.0 ポイントの悪化傾向を示しました。



来期見通し

業況 D.I 値 10.0 (前年同期 D.I 値 10.0)、
 売上高 D.I.値 10.0 (同 10.0)、資金繰り 0.0
 (同 10.0) と前年同期に比べ、1つの見通しで
 は悪化傾向を示しました。

4) 小売業

売上高

前年比で「好転企業」7.1%、「悪化企業」
 17.9%、D.I.値△10.7 と前年同期 (0.6)
 に比べ 11.3 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」3.6%、「悪化企業」
 21.4%、D.I.値△17.8 と前年同期 (△23.6)
 に比べ 5.8 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値△14.3 (前年同期 D.I 値△7.3)、
 売上高 D.I.値△10.7 (同△2.8)、資金繰り
 △14.3 (同△6.9) と前年同期に比べ、
 全ての見通しで悪化傾向を示しました。

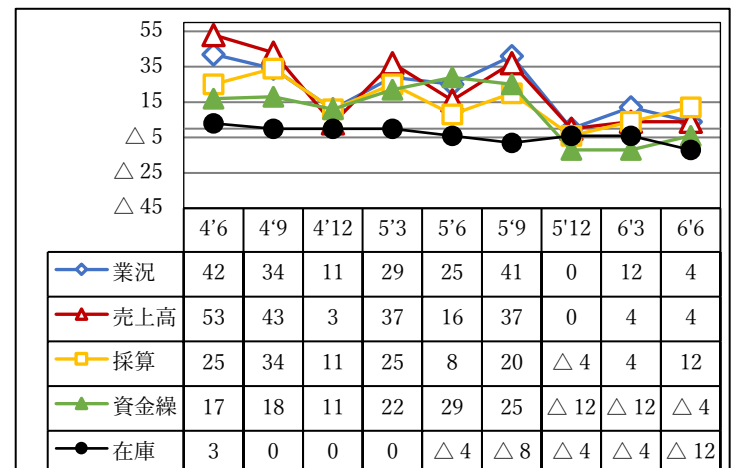
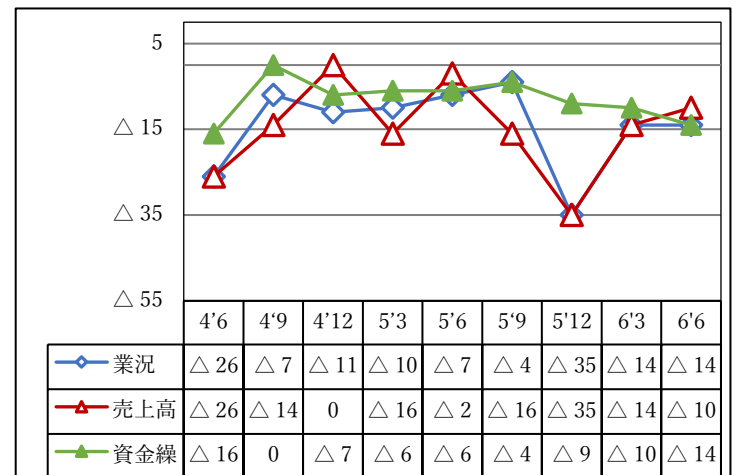
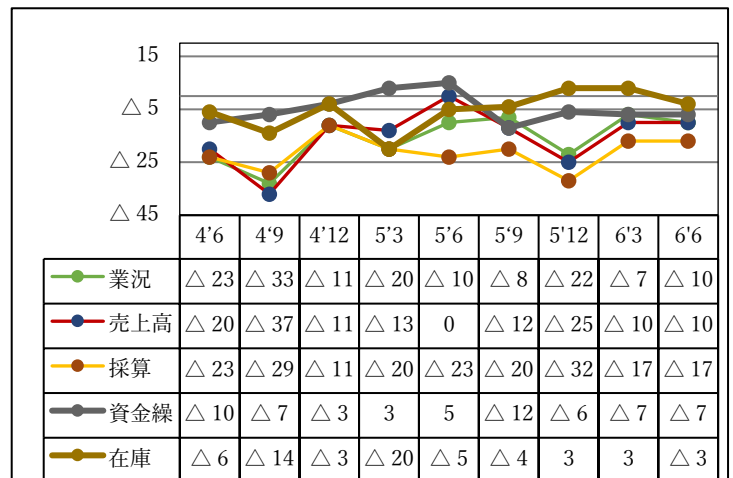
5) サービス業

売上高

前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」
 20.8%、D.I.値 4.2 と前年同期 (16.6)
 に比べ、12.4 ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

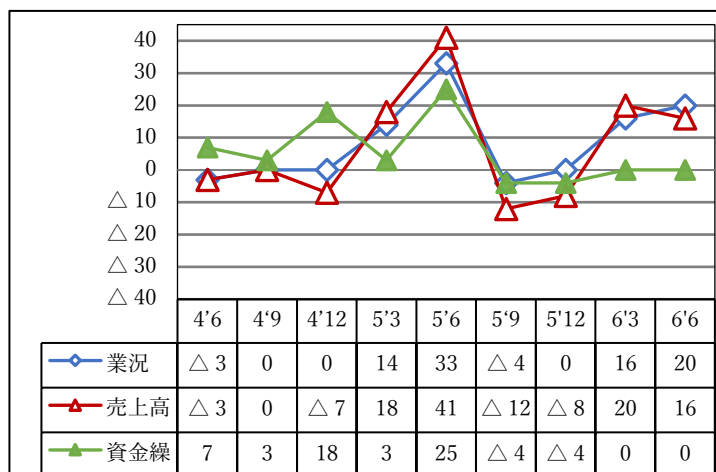
前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」



12.5%、D.I.値 12.5 と前年同期（8.3）
に比べ 4.2 ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況 D.I 値 20.8（前年同期 D.I 値 33.4）、
売上高 D.I.値 16.7（同 41.7）、資金繰り 0.0
（同 25.0）と前年同期に比べ、全ての見通しで
悪化傾向を示しました。



第3章 業種別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2のとおりです。

表1 業種別設備投資の動向

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
実施した	5 件	3 件	0 件	0 件	1 件	9 件
実施していない	15 件	13 件	10 件	28 件	23 件	89 件
合計	20 件	16 件	10 件	28 件	24 件	98 件

表2 業種別設備投資の内容

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全業種
土地	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	1 件
店舗	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
販売設備	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
車輛運搬具	3 件	1 件	0 件	0 件	1 件	5 件
付帯設備	2 件	2 件	0 件	0 件	0 件	4 件
OA機器	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

※複数回答あり

○全業種でみると設備投資に実施したのが9件、実施していないが89件となりました。前回は設備投資を実施したのが13件、実施していないが85件でありました。また、設備内容として最も多かったのは車輛運搬具、付帯設備、次いで土地となっています。前回も車輛運搬具が最も多く、付帯設備が2番目に多く占めていました。

第4章 業種別 経営上の問題点

表1 業種別上位

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	人件費増	諸経費増	売上の不振	得意先減少
製造業	諸経費増	人件費増	人材不足	同業者間の競合 売上の不振	—
卸売業	諸経費増	人材不足	売上の不振	得意先減少 同業者間の競合	—
小売業	人材不足	人件費増	得意先減少	諸経費増	同業者間の競合
サービス業	諸経費増	人材不足	人件費増	得意先減少	売上の不振
全業種	人材不足	諸経費増	人件費増	得意先減少	同業者間の競合 売上の不振

グラフ1 業種別件数



※複数回答あり

○全業種でみると前回調査に引き続き、上位5位までの順位に変動はありませんでした。また、業種別でみると、全業種で「人材不足」、「諸経費増」、「人件費増」が多く占めており、建設業、小売業では前回同様、「人材不足」が多く占め、製造業、卸売業、サービス業では「諸経費増」が多く占めました。